

学校教育目標	共に生きる たくましく生きる かがやいて生きる 牛久保の子 [知] 自ら考え 学ぶことの意義や楽しさを感じ、主体的・意欲的に学び続ける子 [徳] 自分や人を大切にし 思いやりのある、感性豊かな子 [体] 粘り強く最後までやりぬく 心身ともにたくましい子 [公] 夢や目標をもち 地域や社会とともに考え、行動する子 [開] 自分を見つめ 広い視野をもち多様性を尊重して共に生きる子				
	創立 20 周年	学校長 金子 由美	副校長 松井 康仁	2 学期制	一般学級: 18 個別支援学級: 3
学校概要	児童生徒数: 人 主な関係校: 中川中学校 中川西中学校 中川小学校 南山田小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中川中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
「人・もの・こと」と 豊かにかかわり合いながら 主体的・意欲的に学び続ける力 ＜コミュニケーション能力＞ ＜やり遂げる力＞ ＜問題発見・解決能力＞	中川中ブロック ・中川中 ・中川小 ・南山田小	自分も他者も大切にしながら、豊かな学び合いができる子 ○「よりよい人間関係を築くために必要な力」の育成のために、キャリア教育を充実させる。 ○「自ら考え、判断と行動できる力」や「主体的に学び続ける力」について検討し、その共有を図る。 ○特別支援教育に関する研修を行う。

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆子どもの「学び」の高まりと 自尊感情の醸成                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○「人・もの・こと」との関わりを大切に、学ぶことの意義や楽しさを感じる授業づくりを推進します。</li> <li>○一人一人の自己肯定感を高め、思いやりの心を育む児童支援の充実を図ります。</li> <li>○健康的な生活習慣の形成・健康な心身をつくる体力づくりの取組を継続します。</li> </ul> </li> <li>◆子どもを真ん中にした『チーム牛久保』の協働推進                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭・地域・各関係機関等と連携し、子どもを真ん中にした「チーム牛久保」としての取組をすすめます。</li> </ul> </li> </ul>
--------	--

重点取組分野		具体的取組
知	生きてはたらく知	①学力・学習状況調査等の結果分析や学年グランドデザインに基づきカリキュラムマネジメントに取組む。 ②各教科等で、児童の問題発見・解決能力を育成する授業づくりに取組む。 ③ICT活用や時程の工夫により、さらに質の高い柔軟な教育課程編成に取組む。
徳	豊かな心	①自らを振り返り、よりよく生きようとする豊かな心を育むため、学級経営を基に道徳の時間の充実を図る。 ②豊かな感性が育まれるよう、地域など様々な方々と関わり、「本物」に触れるような体験的活動を行う。 ③相手を思いやる心を育むため、子どもが主体的に活動できるフレンドチーム等、交流の場を設定する。
体	健やかな体	①一校一実践として、体育での短縄跳び、○分間走など個の持久力が高まる運動を継続的に行う。 ②心と体の成長のため、保健や体育の授業の充実を図り、生涯、生きてはたらく力となるよう支援する。 ③給食指導を中心に様々な教科・領域を通して、食育の充実を図る。
公 開	地域連携	①保護者、地域と、牛っこ応援団を通して、生活・総合など学習を中心に積極的に関わり、関係を深める。 ②地域を愛する子どもたちを育成するため、地域の行事等に子ども、教職員もできる限り参加する。 ③学校の様子、子どもたちの学び、活動を地域に発信していく。
いじめへの対応		①子ども主体となるよう、いじめ未然防止の話し合いを代表委員会や子ども会議で行い、活動につなげる。 ②ハートフルウィーク、生活アンケートを定期的に行い子どもの実態を把握し、早期発見、解決していく。 ③意図的計画的に教職員の研修を行い、スキルアップを図る。
人材育成・ 組織運営(働き方)		①メンターチームにミドルリーダーや主幹教諭が関わることで、指導力、授業力の向上を図る。 ②日課表やチーム学年経営による一部教科分担制など工夫改善を行い、教職員の裁量の時間を確保する。 ③主幹会、教務会、学年主任会、UCL(共同研究)等、ベテランの教職員のよさが生きる組織運営を行う。
特別支援教育		①配慮を要する子の個別の指導計画を保護者と共通理解の上、作成し、その子に応じた指導支援を行う。 ②特別支援教室では、子どもの困り感に寄り添い、国語・算数を中心に基礎基本の習得をめざす。 ③SCやSSW、子ども家庭支援課など外部機関との連携し、保護者も含め個に応じた適切な指導支援を行う。
人権教育 児童指導		①人権教育を人権週間等を中心に学年に応じて系統立てて学ぶ機会を意図的につくる。 ②月別目標やあいさつ運動など子どもが主体的に児童会で話合ったり発信したりするよう時間を確保する。 ③児童指導に関する諸問題を随時、専任を中心に教職員全体で実態を把握し、組織的に対応する。
未来を拓く志		①「人・もの・こと」にこだわり、本物との出会いを大切に生活科・総合的な学習の時間の授業をめざす。 ②「分かる」楽しさ、「できる」喜び、「認められた」心地よさを感じる魅力ある授業をし自己肯定感につなげる。 ③話し合い活動の充実を図り、価値観が違って、協働して困難な課題に立ち向かおうとする力をつける。
安全管理		①PTA、学援隊と連携して登下校指導や定期的な見回りし、安全指導や危険箇所の共通理解を図る。 ②様々な状況を想定した避難訓練や防災防犯教室を行うことで、子どもの防災防犯に対する意識を高める。 ③安全点検、安全研修など意図的計画的に行い、教職員の危機管理意識を常にもって取組めるようにする。